

## 検討の流れについて

厚生労働省 大臣官房厚生科学課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

## 特に重点的に議論していく内容

- 新たなAI戦略においては、社会実装に向けた取組として、物理・科学や機械など、日本が強みを有する分野とAIの融合により、競争力の高い製品やサービスを生み出すことを目標に設定している。
- 業界調査においては、AI開発に使用するデータの利活用環境に関する指摘を多く頂いており、AI戦略2022においても、AI利活用を支えるデータの充実やデータに関するルールの整備を目標に設定している。
- これらを踏まえ、保健医療分野において、特に重点的に推進していくテーマについて議論したい。

### 新たなAI戦略

- 日本では、**分野ごとに相当程度のデータの蓄積がありながら、他国に比べて効果的に活用することができていない**との見方がある。
- このため、**AI利活用を支えるデータの充実**、海外との連携も視野にいたした大規模なデータ圏の構築が期待される。

AI利活用を支えるデータの充実

- 日本では、AIについて先進的な取組がみられる他国に比べて、**人材が少ない、データに関するルールの制約などがAI利活用を阻む要因となっているなど、環境面での制約が見受けられる。**
- **AI利活用全般を支える人材確保の取組の更なる充実等**の環境整備が期待される。

人材確保等の環境整備

- **物理・化学や機械など、日本が強みを有する分野とAIの融合**により、競争力の高い製品やサービスが生み出せる。

日本が強みを有する分野とAIの融合

# スケジュール

日程	アジェンダ
4月8日	<ul style="list-style-type: none"><li>保健医療分野のAI開発・利活用促進に向けた検討について<ul style="list-style-type: none"><li>新たなAI戦略について</li><li>新たなAI戦略の策定に向けて行った業界調査について</li></ul></li><li>日本が強みを有する分野について、更なるAI開発・利活用の推進に向けた取組について<ul style="list-style-type: none"><li>医薬品開発におけるAIの活用について</li></ul></li></ul>
5月31日	<ul style="list-style-type: none"><li>AI利活用を支えるデータの充実、データ利活用の環境整備<ul style="list-style-type: none"><li>保健医療・介護分野の公的データベースの利活用について</li><li>AIを活用した医療機器の開発・研究における患者データ利用の環境整備について</li></ul></li><li>その他</li></ul>
6月15日	意見のとりまとめ

※ 6月15日以降も、それまでの議論の内容に応じて開催を予定